

令和3年度 第2期たまの創生総合戦略懇談会

書面会議 結果

1. 趣旨

令和2年4月に策定し、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて改定した「第2期たまの創生総合戦略（令和2年度改定版）」について、毎年度、産官学金労言等の各分野の外部有識者から成る「たまの創生総合戦略懇談会」を開催し、当戦略の進捗状況を報告したうえで、委員からのご意見を集約し施策の改善等の参考とするもの。

2. 調査対象

たまの創生総合戦略懇談会委員 19名

3. 調査方法

アンケート配布・郵送回収

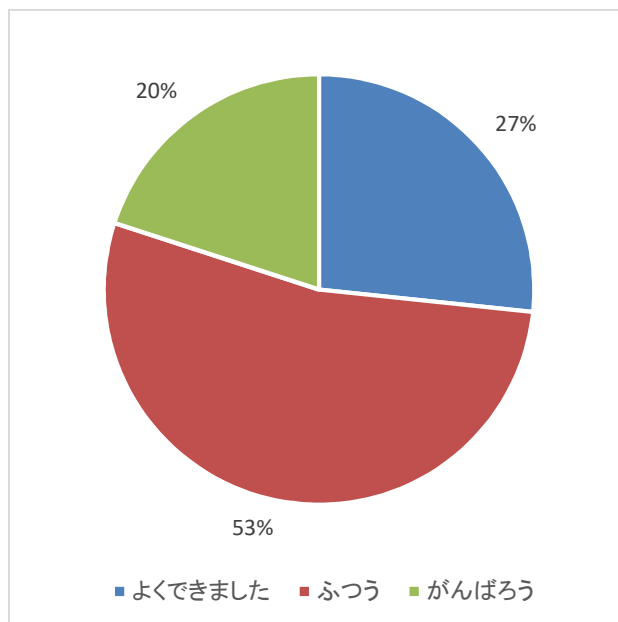
4. 回収結果

回収数 15件（約78.9%）

基本目標①

[雇用創出]
本市における安定した雇用を創出する

1. 数値目標の達成状況について



<意見>

よくできました（4名）

- ・最低賃金の増額見直しの継続。
- ・今の社会経済状況下において頑張った。
- ・市内就職率3.4ポイント増加は、回復傾向だと思う。

ふつう（8名）

- ・住宅環境の改善と企業の求人活動に成果が出ている。
- ・全体的に堅調推移しているもの考える。
- ・5ヶ年計画の初年度としてはよいと思う。
- ・今年はコロナでインターンシップや色々なイベントができなかったのは、就職率にも影響があったと思うので仕方がない。
- ・コロナの影響がどれ位なのか不透明のため、アフターコロナの実績値が、本来の数値になりえるのではないかと。

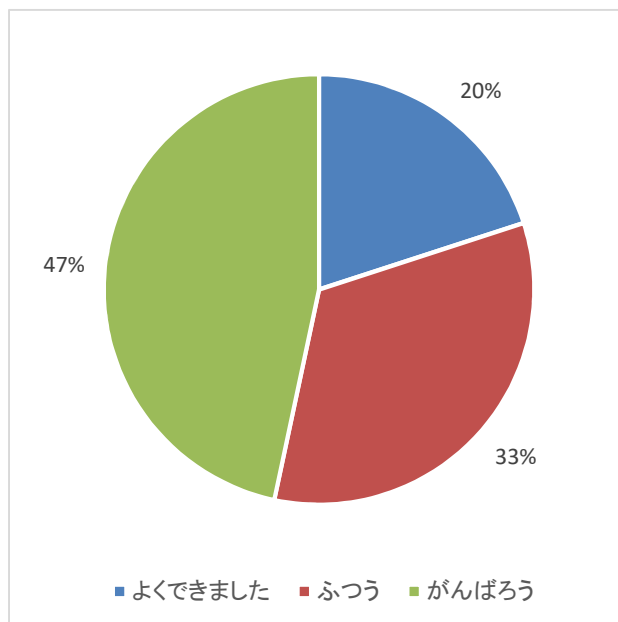
がんばろう（3名）

- ・基幹産業（造船）に元気がない。
- ・市内就職率が多少回復したとの事だが、どうしてそうなったのか？という理由などをしっかり検証する必要がある。そこをしっかりと検証しなければ、次年度は下がるのではないかと。

基本目標①

[雇用創出]
本市における安定した雇用を創出する

2. KPI の達成状況について



<意見>

よくできました（3名）

- ・雇用保険被保険者数 R2 年度 67 人増加、雇用保険適用事業者増加等、数値の改善が見られる。

ふつう（5名）

- ・市内企業・産業の外部へのアピール不足を感じる。
- ・コロナ禍において、市内開業者等伸びてきている。

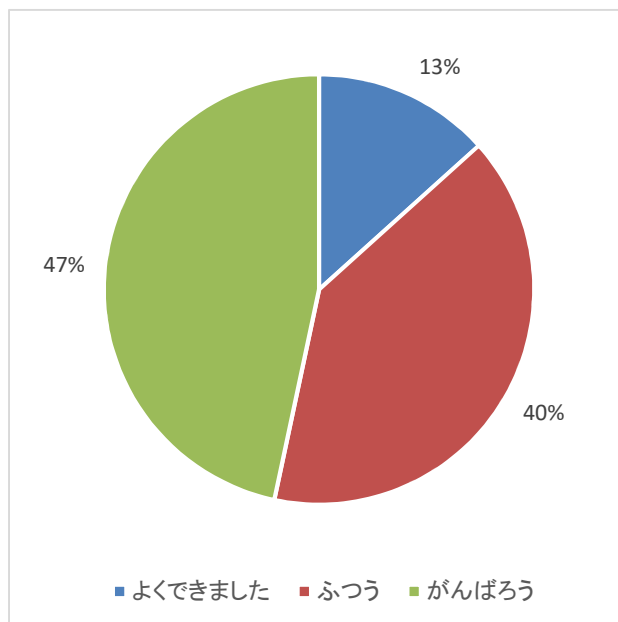
がんばろう（7名）

- ・KPI の設定、目標値が本当に当市に合った値なのか？というのは、どうやってはかれるのか？あくまで目標値であり、数値だけで判断できない。
- ・若い人へのアピールが不足していると思う。
- ・インターンシップを更に強化し、地元企業の技術や人の良さを学生に知ってもらうことが必要ではないか。
- ・数値的には悪くないがコロナ禍への対策として方向転換など施策がほしかった。
- ・岡山県求人サイトに登録した企業数が低すぎる。具体的サポートが必要ではないか。

基本目標①

[雇用創出]
本市における安定した雇用を創出する

3. 具体的事業について



<意見>

よくできました（2名）

- ・コロナの影響で本来の活動ができていない。その分行政として助成金や補助事業等の創設等尽力されたと感じる。

ふつう（6名）

- ・今の状況下では仕方ないと思う。
- ・インターンシップ事業、わくわく地方生活実現政策パッケージ推進事業（移住支援事業補助金）については低調。
- ・中小企業ステップアップ支援、リスタート応援では、一定の効果があった。

がんばろう（7名）

- ・様々な事業があるが、周知、宣伝等ができていない。
- ・新しい発想がほしい。
- ・各補助事業はコロナもあり、比較的採択されやすくなっていると思うので、利用実績だけで制度の目的に十分寄与しているというのは、少し短絡的だと思う。（特にアシスト事業）
- ・コロナ禍も2年となる中、インバウンド頼りだった観光業への対策がみえてこない。

- ・わくわく地方生活実現政策パッケージ推進事業（移住支援事業補助金）を活用できていない。感染拡大がおさまってきた時には、すでに遅い。

基本目標①	[雇用創出] 本市における安定した雇用を創出する
-------	-----------------------------

4. 全体的な意見・提案

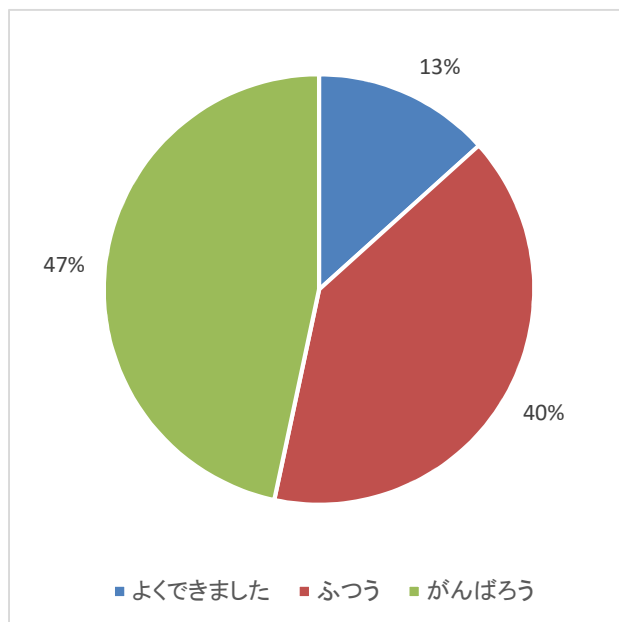
- ・基幹産業の不況の為、受け皿となる法人が必要。
- ・様々な市内企業の方から話を聞いているが、古くから市に貢献している事業者には、新規創業後すぐに閉店するなど、補助だけ受けていると思っている方もいる。補助を出さずにして、最初の事業計画を正しく判断できるような人材が必要なのではないか。
- ・新型コロナウイルスへの対応と三井 E&S の先行き不安など、大変難しい状況であったと思う。企業誘致ができれば良いと考える。
- ・玉野市民の文化と文化会館について、もう少し丁寧に、調査してほしい。
- ・根気よく頑張るしかない時代。
- ・コロナ禍の特殊事情あり、単純に評価するのは難しい。
- ・コロナ終息までまだ時間がかかるが、ウィズコロナ、アフターコロナの考え方で、活動・支援を推進してもらいたい。
- ・コロナ禍の中でのシティセールスの方向転換や、市が管理している施設の有効利用（マネタイズ）など早急に具体的な対策がほしい。インバウンドからマイクロツーリズムの対応など玉野市としての生存戦略を望む。
- ・コロナでイベントができなくても、最近いろんな所がやっているオンライン（パソコン）とかで何かできたかも。
- ・玉野市の現在の状況下を考えると、令和2年度においては、一定の結果をあげられたと評価できる。今年度、コロナでインターンシップ等の諸事業が中止で将来への不安要素が生じている。
- ・コロナ禍において、現状できる事を確実にいき、情報発信、周知を徹底して行ってほしい。

基本目標②

[移住・定住]

本市への新しいひとの流れをつくる

1. 数値目標の達成状況について



<意見>

よくできました（2名）

- ・10～20歳代の転出で6人抑制できている。

ふつう（6名）

- ・市としての事業だけでなく外部要因（企業景気等）も大きな要因になるうことかなんともいえない。
- ・転出抑制は頑張ったと思うが、全体的に若い人へのインパクトが弱い。
- ・若者の転出はある程度わりきって、I・Uターンに力を入れてほしい。もどってきたくなる街づくりを望む。

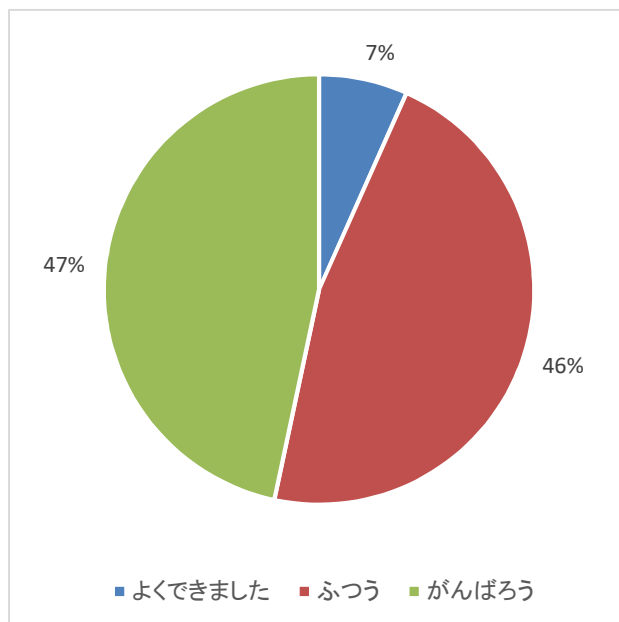
がんばろう（7名）

- ・移住者の登録者数が減った原因をコロナの影響としているが、むしろ全国的には増えている傾向であり、本市への問合せや登録者が減っている原因は他にあるのでは？と考える。
- ・目標値には遠い、工夫した取組が必要。
- ・玉野市は環境も良く、子育てするうえで安心感のある町であることをもってアピールしても良いのでは。
- ・10～20歳代の転出超過は高水準となっている。子育て世帯の減少も高水準となっている。

基本目標②

[移住・定住]
本市への新しいひとの流れをつくる

2. KPI の達成状況について



<意見>

よくできました（1名）

- ・特になし

ふつう（7名）

- ・コロナ禍において地方、田舎が注目されているため、もっと高い値を期待していた。
- ・市全体のイメージが個々に影響している。
- ・コロナの影響で学生との接触機会が少なくなり達成度が十分でなかったと思う。
- ・SNS等の活用で、市内外へのPRに効果が出ている。

がんばろう（7名）

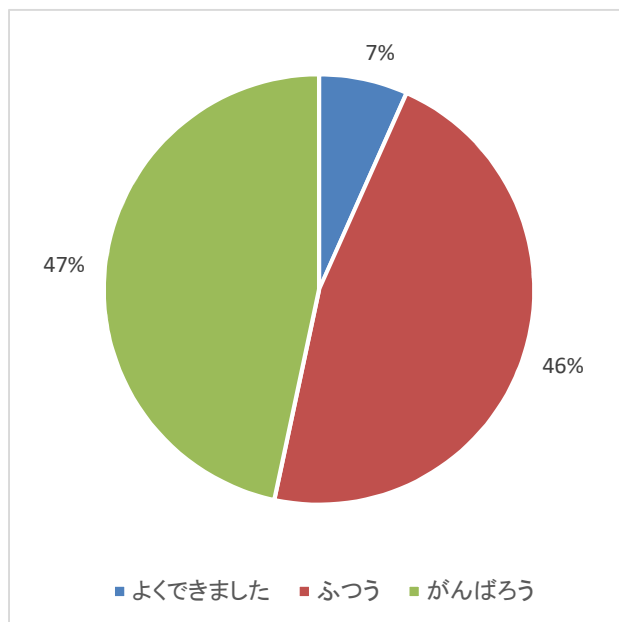
- ・欲しい情報に、市民がたどりついていない。SNSもそれぞれ、使い方やユーザーが違うので、効果的に使う必要がある。
- ・市内高等学校卒業就業者数44%。R6、目標50%。若者雇用協力企業数8社、R6目標35社。
- ・若者雇用協力企業数が0件。若者に対する地元企業の理解が不十分ではないか。移住、空き家に関してはより工夫が必要。

基本目標②

[移住・定住]

本市への新しいひとの流れをつくる

3. 具体的事業について



<意見>

よくできました（1名）

- ・特になし。

ふつう（7名）

- ・コロナ禍でもやれる方法等があれば良かった。コロナだからできないというのはいらない。
- ・市民への情報提供手段の再検討が必要ではないか。
- ・具体的事業については、コロナ禍で中止となった事業もあり評価困難。
- ・奨学金貸付制度の優遇面の見直しが必要。

がんばろう（7名）

- ・若者の市内就職者には自家用車の購入の補助金、結婚して家庭を持つ若者にお祝金などの制度をつくり地元就職のメリットをアピールする。
- ・ふるさと納税をもっと活用して、地域の民間事業者とコミュニケーションをとって返礼品の拡充が必要だと思う。
- ・コロナ禍において若者が情報収集できる機会が中止になったのは残念。市民への情報提供はより充実（子育てをはじめ）を図りたい。

4. 全体的な意見・提案

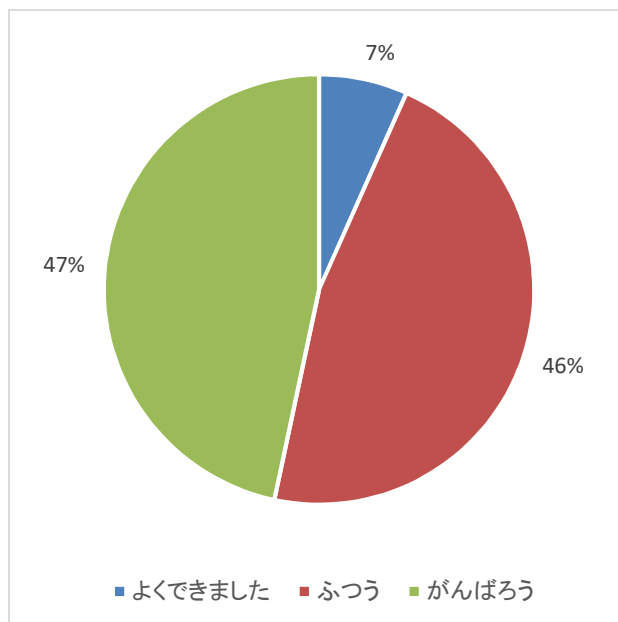
- ・衣、食、住の方向から定住サポートが必要。
- ・雇用の創出次第だと思う。医療、教育は比較的充実していると思う。住宅取得促進ができれば良いと考える。
- ・よりニーズに合った施策検討と広くアピールの必要がある。
- ・ニーズに対する対応が、まだ不十分なのかもしれない。
- ・コロナ禍の特殊事業あり、評価するのは難しい。
- ・子育て環境は、一定の指標でできている。子育て世帯の定住について、施策の強化をしてほしい。
- ・コロナへの事業の対策はDXで解決するしかありません。専門家との対策委員会など早急に対応してほしい。リアルは当分回復しない。
- ・オンラインでイベントとかできるのではないかな。移住希望者向けに、オンラインで相談を受け付けたり、家を紹介したり。
- ・具体的な事業の実行はあったがそれがどんな結果につながっているのかわからないので評価が難しい。
- ・たまの企業ガイドのweb版を作成してはどうか（若者・県外向け）。市内にこういった仕事があるのかは対外的にも分かり難い。

基本目標③

[結婚・出産・子育て]

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

1. 数値目標の達成状況について



<意見>

よくできました（1名）

- ・特になし。

ふつう（7名）

- ・全国的な課題であるので、以降に期待する。
- ・子育てガイドなどの効果も出てきているのではと思う。
- ・少子化傾向はコロナ禍において強くなっていると思う。
- ・結婚、出産については、コロナ禍で評価すること自体あまり意味がないのではないかと思う。
- ・出生数の減少傾向が気になる。
- ・初年度としてはよい数字と思う。

がんばろう（7名）

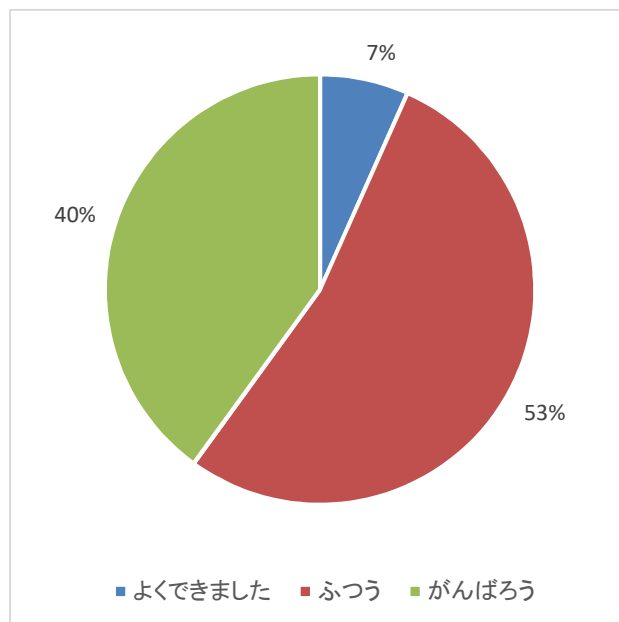
- ・本件もコロナの影響があるものの優遇されている制度等が市民に浸透していないのではないか。
- ・コロナの関係で仕方がないかと思う。
- ・目標値まで課題が多い。安心して結婚、出産、子育てできる環境のイメージづくりが大切ではないか。

基本目標③

[結婚・出産・子育て]

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

2. KPI の達成状況について



<意見>

よくできました（1名）

- ・特になし。

ふつう（8名）

- ・子育て環境が整っていることはとても重要と思える。また就職もしやすい環境をつくるためにも企業側との意見交換も必要ではないか。
- ・どの指標も改善傾向にある。
- ・紙とITをうまく活用して情報発信してほしい。

がんばろう（6名）

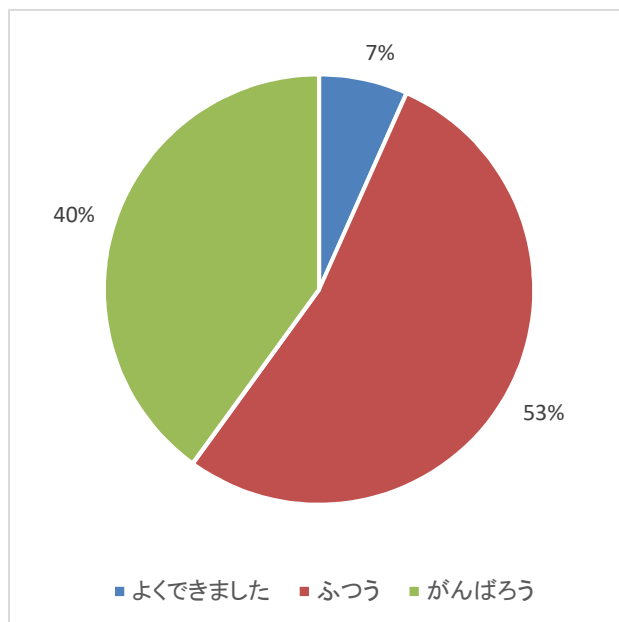
- ・子育て環境の整備は不十分と思われる。
- ・女性が働きながら出産、子育てできる環境のイメージづくりが大切ではないか。

基本目標③

[結婚・出産・子育て]

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

3. 具体的事業について



<意見>

よくできました（1名）

- ・特になし。

ふつう（8名）

- ・対象が限られた企業になればなるほど、またプライベートなものになるほど周知にがんばっていただきたい。
- ・時間を要することが多いので根気よく頑張ってもらいたい。
- ・コロナ禍で、制約の多い中、良くなっていると思う。
- ・各々のKPIへの目標値の達成、安心度・満足度の向上を引き続き目指してほしい。

がんばろう（6名）

- ・若い世代を呼び込む支援策が弱い。
- ・今後はコロナがおちつくと思われるので、昨年計画していた事業を見直しつつ実践してみること。

基本目標③

[結婚・出産・子育て]

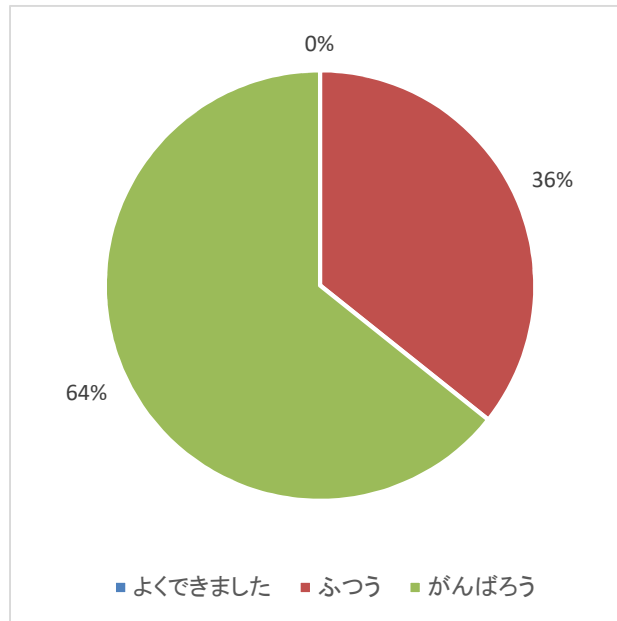
若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

4. 全体的な意見・提案

- ・子育て環境は充実しており、雇用創出次第だと思う。
- ・安心して子育てできる玉野市。中学3年まで医療費無料は望ましい。
- ・次の基本目標④と全体にも関連するが、市民の意識と市の対応との「ズレ」を感じる。意識とニーズ面では玉野市へのロイヤリティ（忠誠度）は高いですが対応が遅いと思う。ニーズは実態の先行指標だと思う。
- ・「子育て環境が整っている」ポイント 12.8 増加しているが、その他は減少傾向にある。支援施策の再検討をお願いしたい。
- ・子育てしたい場所となるためには各論よりも街のブランドが最も重要。ブランド力を高める施策をしてほしい。
- ・コロナで結婚や出産と色々不安な年だった。ただ、他県の知人から、コロナの中、出産をがんばられた人には、市からお祝金が支給され、感動したという話を聞いて、そういう施策ができれば、出産した側も励みになるし、この市にいて良かったと思えるのではないか。コロナ禍でマスクをしながら、又立ち会いもしてもらえず一人で出産する産院もあるので大変だと思うので、なにか少しでも市からこのような企画をしてくれたら良いと思いました。
- ・コロナ禍で施策の実行が難しい状況にあったと思う。諸施策の取組がなされている事を一般市民への周知が弱いのではないか。
- ・ジェンダーを超えた多様な働き方や役割を尊重する仕組みづくりなども良いのではないか。

基本目標④	<p>[まちづくり・地域間連携]</p> <p>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p>
-------	-------------------------------------------------------------------

1. 数値目標の達成状況について



<意見>

ふつう（5名）

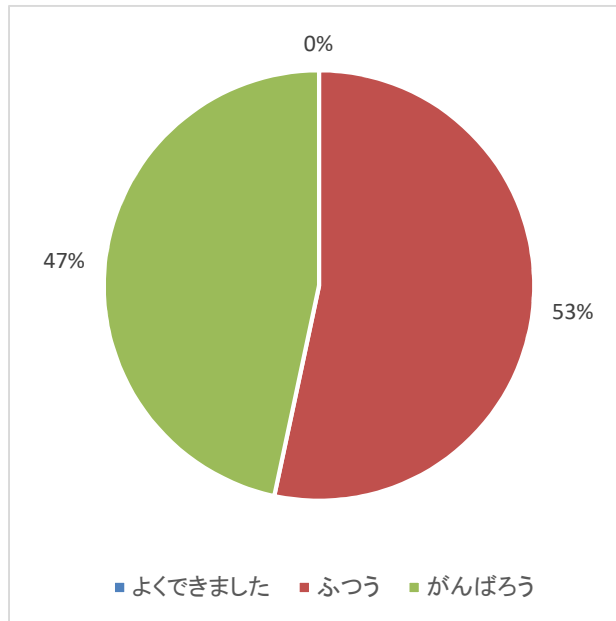
- ・なにが、そう思わない要因なのだろうか。その把握はどうなっているのか。
- ・調査結果としては大きく悪化しているわけではないので、今後も住みたいと思えない方々の理由が調査できれば施策を検討するうえで参考になるのではないか。

がんばろう（9名）

- ・今後も本市に住みたいと思う10代、20代の割合が極めて低い。
- ・芸術・文化活動の推進事業が課題になっていないが、市民会館新設計画はどうなったのか。
- ・今の状況下では仕方がないのではないか。
- ・「住み続けたいと思う」3.2ポイント悪化の点が気になる。
- ・この街に住み続けたいかは市としての街のブランディングと密接につながる。街の特徴をしっかりと形づくり発信することが重要。
- ・政策の魅力向上と、市の魅力周知（情報発信）の充実を図りたい。

基本目標④	<p>[まちづくり・地域間連携]</p> <p>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p>
-------	-------------------------------------------------------------------

2. KPI の達成状況について



<意見>

ふつう（8名）

- ・再編や見直しは反対者が多くいるので、全体感というより、個々の事業での個々人の〇×が、数値として出てしまうのではと考える。
- ・公共施設や公共交通機関の利用率は、当然コロナの影響で低下は仕方ない。どちらも利便性を高めて、利用してもらえる仕組みづくりが必要と思う。
- ・公共交通機関利用者数、各種イベント等は、コロナ禍では比較対象とならないと考える。
- ・公共交通は利便性等見直しが必要。

がんばろう（7名）

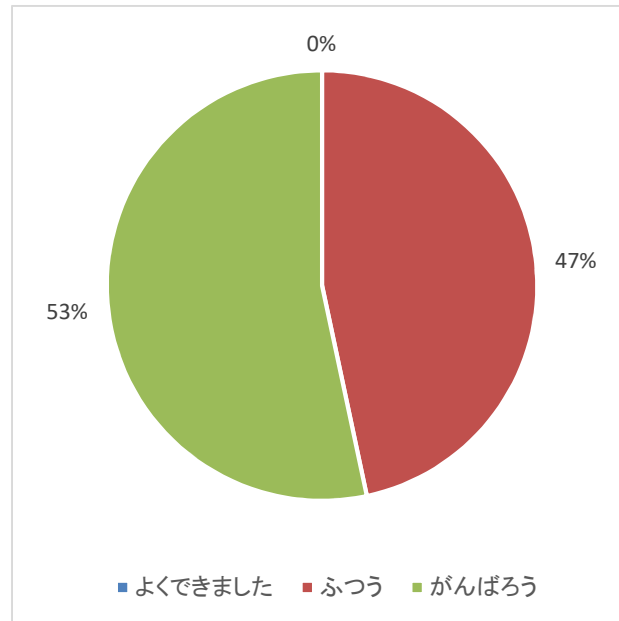
- ・住み続けたいと思う市民の割合が悪化しているのは、良くない。数値目標の達成ありきでしていると、今後も悪化しかないとと思う。
- ・文化に接する機会に「ほとんど接しない」が73.1%（市民意識調査結果）、文化に関わる市民は、文化団体23団体ありますが、利用する会場がここ何年もありません。
- ・目標値に遠い。

基本目標④

[まちづくり・地域間連携]

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

3. 具体的事業について



<意見>

ふつう（7名）

- ・多くの事業をやったと思う。
- ・アフターコロナ、ウィズコロナの新たな取組を入れながら昨年コロナで実践できなかった事業に取り組んでみる。その中で課題を見つけて解決策を考えてはどうか。

がんばろう（8名）

- ・文化事業についての取組の項目が、あまりにも少なすぎる。
- ・サウンディングやマネジメント民間提案については、つい最近まで知らなかった。しっかりと活用いただけることを望む。
- ・公共施設はもっと面白く活用できる。活用できれば市の魅力のひとつとなる。
- ・健康は身体的・精神的両輪で保たれる。身体性が前にすぎるのではなく精神性（文化活動）ともバランスのとれた環境でありたい。

基本目標④	<p>[まちづくり・地域間連携]</p> <p>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p>
-------	-------------------------------------------------------------------

4. 全体的な意見・提案

- ・ どうすれば、住み続けたいと思ってもらえるのか？ どうして住み続けたくないと思うのか？ をきちんと理解しないと、政策だけしても意味がないと思う。「How」の部分だけ、考えても「Why」がないと上手くいかない。「Why」をしっかりと考えていきたい。
- ・ 観光資源と住環境が、他の地方公共団体より優位性があり、特典・PR 次第だと思う。また、デジタル化やSDGsにも注目されたら良いと思う。
- ・ 芸術、文化について、もう少し取り上げてほしい。
- ・ 市民病院と民間病院の再編・統合は良い事だが、市民病院側の職員の意識改革が重要な鍵となるのではないか。
- ・ 市の対応の遅れが影響していると思う。また、街の中心性が郊外の変化によってますます低下し、イメージも低下していると思う。以前からの課題である中心性の確立のための計画を、この状況下においては、じっくりと考えていく必要があると思う。ウィズコロナの時代は長く続くのかもわからないので、根気良く頑張るしかないと思う。
- ・ 「今後も住み続けたいと思う」これがまちづくりの基本だと思う。
- ・ コロナの中、交通機関を使いたいという人は確かに少なくなると思う。バスやタクシーに乗ったことがないので分からないが、バスやタクシーにも消毒を置いて乗る前に消毒できるようにするなど対策が必要。
- ・ 基幹産業等の動向はじめ玉野市の将来像が見えにくい状況下で、もう一段の頑張りが必要だろう。各施策をもっと市民にPRの必要があるのではないか。